



日時 平成20年2月2日(土) 19:00~20:40  
場所 西部公民館 第2学習室  
出席者 役員 8名、ブロック長 7名

[報告事項・議事内容]

議題

I. 防災に関する説明

1. 説明者 調布市総務部総合防災安全課防災係 係長 岩田健治氏  
主事 川上仁史氏

2. 配布資料 災害発生に備えて!(テキスト)  
調布市防災マップ  
調布市洪水ハザードマップ  
地震その時10のポイント

3. 挨拶(岩田係長)

災害対策で行政に出来ることには限界があるので、自助、共助が重要である。

4. 説明(川上主事)

(1) 全般

- ・調布市は、3段の階段状の土地になっており、多摩川に近い所が一番低く他に比べて地質が弱い。
- ・調布市には消防車が20台しかなく、1つの火事で5台が出動するため、大規模地震などで同時に多数の火災が発生した場合には対応できず、自助、共助が重要になる。

(2) 自助(自宅での対策)

- ・阪神大震災では、被害を受けた方の多くは、家の中で亡くなったり怪我をしているので、まず、家具等の転倒・落下防止の対策をする必要がある。
- ・転倒・落下防止対策を最初にやるべきところは、寝室・タンス・本棚である。
- ・震度6強で効果のある対策は、以下の4つ
  - ① L型金具で家具の上部を固定する。
  - ② 上からの突っ張り棒と下からのストッパーとの合わせ技(上部の隙間が小さい場合は、本やダンボールを詰める)
  - ③ チェーンやベルトで固定(L型金具の代わり)
  - ④ ガラスに飛散防止シートを貼る。
- ・ライフラインが止まった場合復旧に掛かる時間は、電気が1週間、水道が1ヵ月、ガスが2ヵ月弱である。
- ・最低でも3日間は、自分自身で生き延びられるような準備が必要である。
- ・避難所に3日分の備蓄があるが、800人を想定したものであるため、足りない場合も有り得るので、必要なものは各自で持ち出した方がよい。
- ・「災害伝言ダイヤル(171)」があり、毎月1日に試してみることができる。

(3) 共助(自治会等の対策)

- ・阪神大震災では、救助が必要な人35,000人のうち、消防署など行政により救助されたのは8,000人であり、残りの27,000人は地域の人々が救助したことからも、共助の重要性がわかる。

- ・災害が発生した場合には、お隣さんに声をかけ安否を確かめることが大切である。
- ・調布市では、「防災市民組織」の結成による防災意識の高揚と生活の安全確保に寄与することを目的に毎年補助金を交付しており、平成19年8月末時点で76組織が結成されているが、まだまだ少ない状況である。

#### (4) 公助（行政の対策）

- ・休日・夜間に災害が発生した場合の対策として、各避難所の近隣に住んでいる市職員5名づつを初動要員として配置している。
- ・高齢者や障害者が避難するために、地域センター等を2次避難所に指定している。
- ・約30の避難所には、800人の3日分の備蓄を行っている。
- ・市民が初期消火を実施できるよう約750本の街頭消火器を設置している。
- ・災害時の避難勧告や市からの情報を伝えるため、112箇所に防災無線を設置している。（調布FM83.8MHzでも市からの情報を聞くことができる）
- ・毎年8月下旬に総合防災訓練を実施している。

#### 5. 質疑応答

（質問） 防災マップの入手方法は？

（回答） 調布市総務部総合防災安全課、公民館、市役所受付等で入手できる。

（質問） 市は、防災対策では地震と洪水どちらに重点を置いているのか？

（回答） 2本柱で行っているので、どちらかに重点を置いているということはない。

（質問） 街頭消火器の更新は誰が行うのか？

（回答） 調布市が行っている。

（質問） 街頭消火器が無くなっている所があるがどこに連絡すればよいか？

（回答） 総合防災安全課に連絡してほしい。

#### II. 会長報告

##### 1. 外部団体との折衝、会議出席報告、その他活動報告

- (1) 1月13日(日) 調布市消防団出初式(欠席)
- (2) 1月13日(日) 調布市自治会連合協議会新春懇談会(欠席)
- (3) 1月19日(土) 「親子凧揚げ大会」実施
  - ・46名の子供が参加し、晴天で風もあり、過去最高の凧揚げ日和であった。

##### 2. 回覧用資料配布

- (1) 「税のたより」 所得税の申告 : 2月18日～3月17日
- (2) 「自治連協ちょうふ」
- (3) 防災講演会 2月10日(日)午前10時～12時 文化会館たづくり12階大会議場

#### III. 事務局報告

##### 1. 羽鳥 IT 部会長（ホームページ再構築報告）

- ・昨年に会員有志によりホームページのリニューアルに着手し、12月に骨子が出来上がり、2月2日に新しいホームページを立ち上げた。

##### 2. 丸山会計役員（平成19年度決算見込）

- ・予算に対し△529,066円、次年度繰越は約4,000,000円になる見込みである。
- ・会長より、余ったお金の有効な使い道を考える必要があり、何か企画があれば提案して欲しいとの指示があった。

次回役員会予定 平成20年3月1日(土)19:00～21:00 西部公民館 第2学習室